

アステン流 大人ドリル

淑女検定

チャレンジテーマ

ボタニカルアート

問題

1

ボタニカルアートを描く時に欠かせない要素とは？

- A. 生物学的視点
- B. 経済学的分析
- C. 哲学的思想
- D. 文学的表現



問題
2

描くときのルールとは何？ 一つ選んで。

- A. 写真を見て描く
- B. 実寸で描く
- C. 植物の色素を使う
- D. 花瓶も描く



問題
3

ボタニカルアートで人気のバラ。
全部で何種類以上あると言われている？

- A. 300種類
- B. 3000種類
- C. 3万種類



ボタニカルアートで描かれる植物は、写真よりリアルだ。筋や茎のうぶ毛まで細かく描かれている。それでいてセンスの良さがあり、芸術性もある。描く側の努力を知ると、これまでとは違った角度から鑑賞できそう。

SBS学苑
バルシェ校

今月の
先生



【ボタニカルアート】講師

小島 万里子 こじま まりこ

日本ボタニカルアート協会会員

植物と対話し、自然が生み出した造形美を再発見しながら、楽しく絵を描いていく

正解 & 解説

問題
1

→ 正解 A

ボタニカルアートの由来はボタニカル（植物学）+アート（芸術）。芸術作品としてだけではなく、植物の特徴や仕組みを伝える役割を担っている。そのため、描き手は生物学やそこから派生する植物学などを勉強しなければならない。小島先生は若い頃、画家に憧れたが父の反対で諦め、専業主婦、子育てを経てボタニカルアートの世界に入った。「だから生物学の本をたくさん読んで独学で学びました」と話す。

問題
2

→ 正解 B

正確に植物の特性を記録するため、実物を見ながら実寸で描くのがルール。そのため、製図で使用するコンパスのような器具「デイバイダー」や定規、ルーペを使って描く。筆は面相筆や平筆などを使い分け、透明水彩絵の具で丁寧に塗り重ねる。花瓶や鉢植えなどの人工物は描かない。場合によっては根や実も描く。「実のあるものが好きです。採って食べる楽しみもありますからね」と小島先生。

問題
3

→ 正解 C

オールドローズや大輪のハイブリットティーローズ、つるバラのクライミングローズなど、現在バラの品種は3万を超えるとされる。ボタニカルアートでも人気だが、「描くとなると本当に難しい」と小島先生。花弁の枚数は5枚、50枚、100枚と品種によって大きく異なる。一枚ごとの重なりや開き具合をありのままに描く。葉脈の一本一本も正確に、虫の穴さえ何の虫がどうやって食べたかを調べるという。

SBS学苑バルシェ校
INFORMATION

6/30(日) 9:30~16:30

ライフオーガナイザー2級認定講座
講師／あかた よしこ(日本ライフオーガナイザーアカデミー会員)
受講料／21,600円(教材費・認定料込)
テキスト代／1,620円(お持ちの方は入金前にお支払ください)
管理運営費／108円 持ち物／筆記用具

【お問い合わせ・お申し込み】
Tel.054-253-1221